

< あじさい会 集中電話相談についてのご報告 >

医療情報担当

大頭 信義

第5回 になりました

いささか旧聞となるレポートですが、第5回の集中電話相談についてご報告申し上げます。あじさい会には06年10月の時点で登録されていて会費を払い込んでおられる会員が95名となっています。がん患者さんが多いので、残念ながらお亡くなりになる方があって、結構出入りの多い会員像と言えます。

私たちの会の活動は、隔月に開催する例会（講演や学習会、懇親会など）の他には、毎週月曜日と水曜日の16時から19時までの電話相談そしてこの「あじさいだより」の発行があります。

それ以外に、毎年ゴールデンウィークに1日をあてて、集中電話相談を実施してきましたが、昨年は5月3日に第5回のイベントとして行いました。

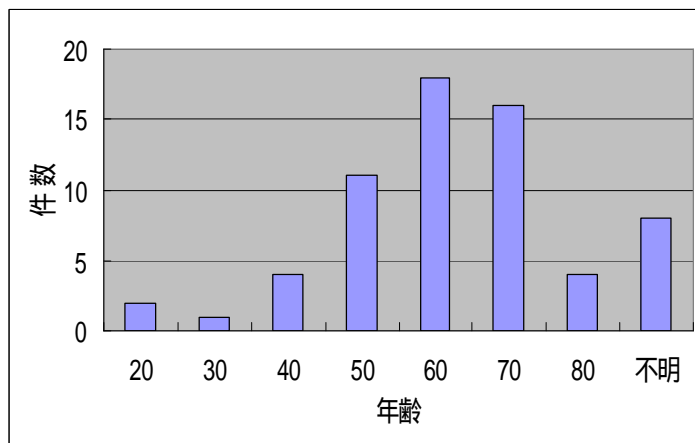
具体的は、こんなやり方でした。姫路のだいとう循環器クリニックに電話を4台準備しまして、11時から16までの5時間の相談受付でした。関西に散らばるスタッフのうち、今回は看護師が6名、医師が2名、患者会（乳がん）代表1名が相談員として待機しました。

かかってきた電話相談数は、62件でした

そのデータは以下のようになります。

相談電話数	62件
相談者	本人 42件 家族 20件
相談者の住所	大阪府 28件、兵庫県 16件、京都府 3件 その他 10の県より（三重から広島まで） 不明 3件

相談者の年齢



若い相談者は、多くの場合、本人ではなくてご家族でした。

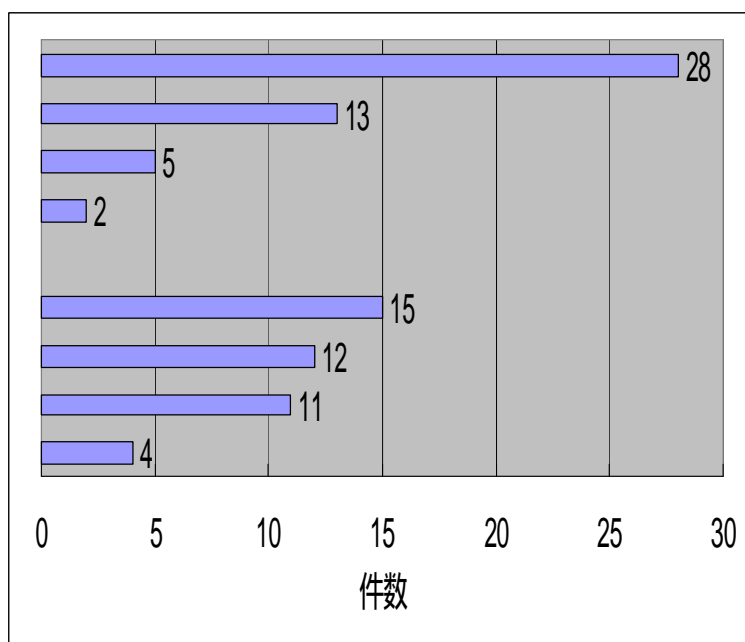
相談の対象となったがん

胃がん 9件 大腸がん 8件
肝、肺がん、乳がん 各 7件
前立腺がん、子宮がん 各 4件
食道がん、卵巣がん、悪性リンパ腫 各 2件
膵臓、舌、腎、甲状腺、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、
睾丸、原発不明 各 1件
いつも、相談が多いのは、罹患率の高いがんについてです。

相談内容で最も多いのは、「現在の治療法への不安や不満」でした

< 不安や不満への癒し >

現治療法への不安・不満
医療への不信
今後の療養への不安
相談相手が欲しい
< 医療情報 >
治療法の選択(手術・化学療法・
セカンドオピニオン
情報が欲しい
症状のコントロール



相談内容を大きく分けてみますと、2つになりました。一つは「現在、自分が受けている医療についての不安、不満」を中心としたものです。主治医とうち解けて話せない、悩みを家族でさえ理解して貰えない、誰かに相談したいんだ、といった切実な悩みです。

そしてもう一つは、医療情報についての相談です。3項目目の「情報が欲しい」というものには、

使っている薬剤の副作用について知りたい
PET はどんな場合に役立つのか
転移が心配だが、どうすれば発見できるのか
これからの治療費について教えて欲しい
自分が参加出来る患者会があるだろうか
在宅ケアを受けるにはどうすればいいのか

といったものが含まれていました。

これらの質問や相談に対して、看護師や医師、そして時には患者会の代表者が、必要に応じて交代しながら対応させていただきました。毎年のことですが、悩みを聴いてもらいたいのだと、1時間も話されていた相談もありました。スタッフからの意見を伝えることよりも、もっと遠慮無く主治医と話し合うことが必要じゃないかと思われる相談も多いのですが、そのところができない、つまり、正面から向き合って、患者・家族と医療チームが話し合えていない現状が色濃く見えます。

電話相談には、医療情報と心の癒しを

日常の月曜日と水曜日の電話相談でも強く感じますが、集中電話相談を実施してみまして、療養に必要な「医療情報」が十分に入手しにくいこと、そして、医療チームや時には家族に対する不安や不満が折り重なって存在していることを改めて痛感しました。

会員の皆様からも、あじさい会の活動に対して、ご遠慮のない意見を頂戴したいと思います。